



Agenda

2 キャリア教育

生徒たちが将来について考える機会を充実させるため、
企業・大学・NPOなどとの連携を進めています。

一人ひとりの生徒の人生において、自分にあった充実した生き方を自律してできるように、必要な教養や態度、能力を育てていくことが期待されています。中学生、高校生の間に、多くの経験、体験をし、様々な価値観にふれて自分の将来について考える機会を持つてほしいとの思いでキャリア教育を推進しています。日々の学校生活での学びや出会いのすべてが生徒のキャリア形成につながっていきますが、学校の中だけでは学べないことも数多くあります。これまでも、本校

の卒業生や保護者の方々にご協力いただきながら、中学・中等3年時に職場訪問や職業インタビューを実施したり、職業人の話を聞くフロンティアセミナーを開催したりしてきました。2015年度はキャリア教育の機会をさらに広げ、企業、大学、NPOなどとの連携に取り組みました。外部機関との連携は今後も進めていきます。2015年度の取り組みのうち、生徒や保護者の方に特にご好評いただいた事例を3つご紹介します。

三越伊勢丹×桐蔭女子プロジェクト



高校2年生女子を対象としたキャリア教育の一環として、三越伊勢丹と生徒がコラボレーションし、2016年2月に伊勢丹相模原店で「かわいいがいっぱい」のセレクトショップイベントを開催しました。本プロジェクトの特長は、生徒が商品セレクトの過程のみに関わるのではなく、前年の7月から半年以上をかけてマーケティングの理論を学び、地域の消費動向分析や広告作りを経験しながら、百貨店のバイヤーの視点で企画立案を行った点にあります。百貨店のバックヤードの見学など普段はできない体験をさせてもらったことに加え、社員の皆さんが生徒たちを社会人として扱ってくださったおかげで、打合せの場での立ち居振る舞いやプレゼンテーションの仕方についても学ぶところが多かったようです。

生徒たちがセレクトしたマグカップは、一般のお客様にとっても人気があったとのこと。生徒たちも満足の企画となりました。

良医育成プログラム



本校卒業生の医師を中心とした東邦大学医学部のご協力のもと、医学部進学を目指す生徒を対象とした「良医育成プログラム」を開始し、2015年度は高校2年生の女子生徒24名が参加しました。良医のたまごを育てることを目的とした本プログラムでは、現役医師チームから最新の医療に関する講話を聴き、医学部での医学実習を体験できる機会を通年で月に1回程度設けています。医学部生向けと同様の縫合の実習や、最先端の手術支援ロボット「ダヴィンチ」の操作を体験させてもらうなどの貴重な機会に、生徒たちの眼差しは真剣そのものでした。講話を聴いた感想に対するコメントや医学部受験のアドバイスを医師から直接もらうことができ、生徒たちの意欲も一層高まりました。2016年度は対象をさらに広げ、医学部志望者向けのプログラムを充実させていく予定です。

未来構想プロジェクト



未来構想プロジェクトとは、日本学生社会人ネットワーク(JSBN)が高校生と語り合うキャリア教育企画です。このイベントは中等教育学校後期課程生徒会の発案で始まったもので、企画・運営も生徒主体で行っています。JSBNの担当者と打合せを重ねながらイベントを開催する経験自体も、生徒たちの成長の機会となっています。

2015年度には中等後期課程の生徒を対象として4月と10月の2回実施しました。当日は「生き生きとした大人になるために」「今の時代に必要とされる理想の人物像とは」といったテーマについて、グループに分かれて議論を行いました。JSBNの社会人や大学生の熱い想いは生徒たちに伝わり、イベントの最後には生徒たちの前向きな気持ちがこもったプレゼンテーションが行われ、会場は高揚感に包まれました。